

仙台CYニュース



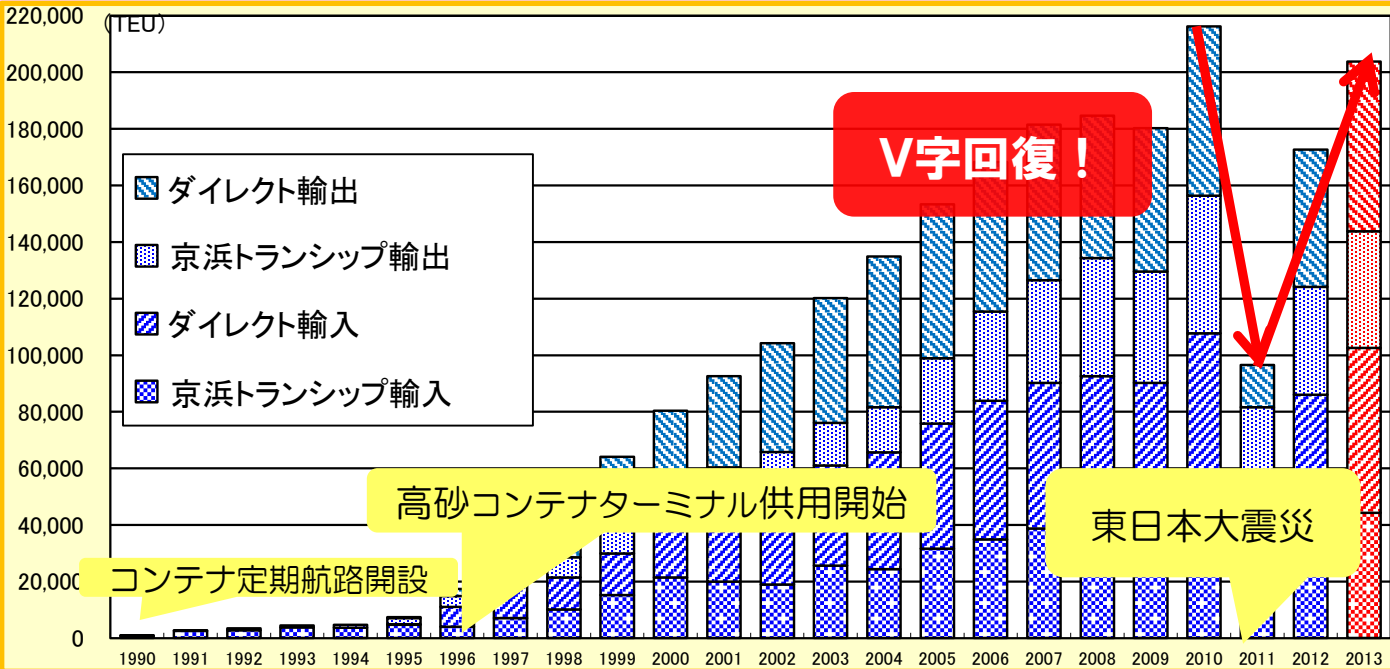
— 復興に向かって Hop Step Jump — vol.10 平成26年3月 宮城県土木部港湾課

東日本大震災から3年が経過しました。この間の皆様の御支援、御協力により、現在も高砂コンテナヤードには、毎日多くの貨物が往来しており、昨年の貨物量は歴代2位を記録するまでに回復しました。今回は、2月に開催しました仙台国際貿易港首都圏セミナーや、最新の仙台港区の状況について御紹介します。

20万TEU突破へ！ 歴代2位の貨物量を達成！！

仙台塩釜港における平成25年のコンテナ取扱貨物量は、20万3,741.75TEU(速報値)で、東日本大震災前の最高記録を達成した平成22年の取扱量の94.3%にまで回復しました。これは平成22年に次ぐ、歴代2位の取扱量となります。

貨物の内訳としては、住宅建築用などの製材や木製品の輸入、輸出ではタイヤなどのゴム製品が上位を占めました。



新造船コンテナ専用船 就航・初入港

平成25年12月4日、井本商運(株)が所有する新造コンテナ専用船「さがみ」が仙台港区へ初入港しました。コンテナ積載能力404TEU積と、内航コンテナ船としては国内最大となります。また、甲板上に45ftコンテナの積載が可能となっています。



仙台コンテナ検査センター再稼働！

平成26年3月3日、東日本大震災の津波で被災した仙台コンテナ検査センターの大型X線検査装置の復旧工事が終了し、検査センターが再稼働しました。(横浜税関仙台塩釜税関支署)



○再稼働した検査センター

仙台国際貿易港首都圏セミナー開催

平成26年2月14日、ホテル椿山荘東京において、仙台国際貿易港首都圏セミナーを開催しました。大雪にもかかわらず約400名の方々に御出席いただきました。

鎌田仙台商工会議所会頭、村井宮城県知事のあいさつに続き、仙台港区を利用いただいているJFE条鋼(株) 営業総括部長 糸山様からの御講演、遠藤土木部長からの昨年の貨物量や仙台港の近況に関する講演、高橋産業立地推進課長からの企業の立地状況についての講演がありました。

三つの講演についても、お集まりの皆様にご好評をいただきました。

○JFE条鋼(株) 営業総括部長 糸山様より御講演



○鎌田会頭のあいさつ



○村井知事のあいさつ



○遠藤土木部長による講演



○高橋産業立地推進課長による講演



第一部の講演に引き続き、第二部のレセプションでは、ホテル椿山荘東京の庭園を眺めながら、和やかに懇談が行われました。

○第二部レセプション風景



<この記事に関するお問い合わせ>

宮城県土木部港湾課振興班 仙台市青葉区本町3-8-1

TEL: 022 (211) 3221 メール:kousin@pref.miyagi.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kouwan/>

